

(新) 海域国立公園保全強化方策検討事業費 18百万円(0百万円)

自然環境局国立公園課

1. 事業の概要

沿岸域の自然景観の保全、及び陸域と海域の生態系の連続性を確保することが国内外から求められていることから、我が国の自然保護行政の根幹である国立公園制度において、海と陸の連続的な保護・利用のあり方、新たな海域の保全方策について検討し、国立公園の海域の保全管理の充実を図る。

2. 事業計画

平成18年度	全国の海域改変状況等の把握 海域国立公園における課題の抽出・分析	等
平成19年度	ケーススタディの実施 全国的な海域の保全方策の検討・策定	等

3. 施策の効果

国立公園の海域の保全管理を充実することにより、生態系の連続性の確保や風格のある国土づくりが促進される。また、世界に誇れる国立公園とすることにより、観光立国の推進にも寄与する。

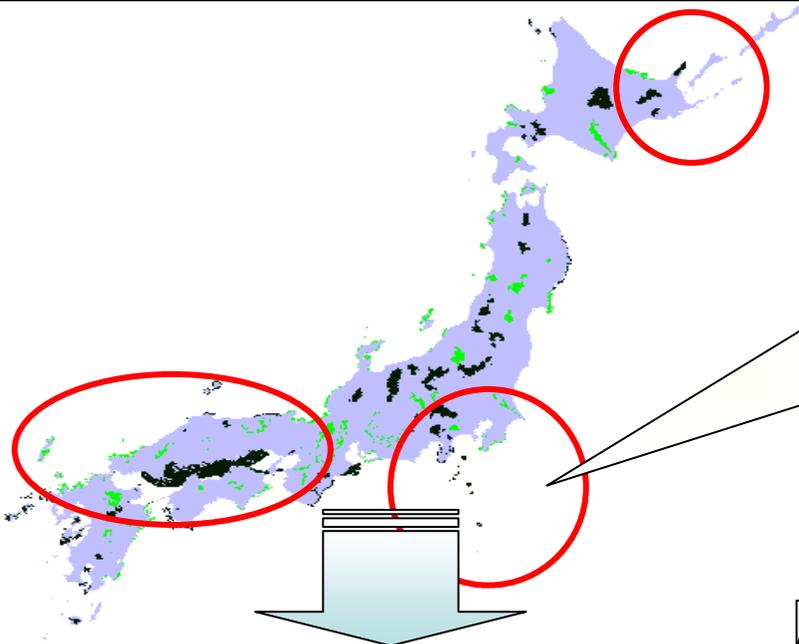
海域国立公園保全強化方策検討事業費

現在の課題

- ・ 全国における沿岸域開発の進行
(ex. 干潟、藻場等の埋立による消滅)
- ・ 海域の生物多様性 (種・生態系) の減少
- ・ 海域と連続した陸域の動植物相・景観への影響

海域生態系保護施策の充実
陸域・海域の統合的管理の推進
が急務

海域を含む代表的国立公園における事例調査・課題の分析



現地調査によるデータの収集・解析

- ・ 自然景観
- ・ 植生 (藻場等を含む)
- ・ 魚類・底生生物
- ・ 海鳥類・海棲哺乳類
など

海域国立公園保全方策の検討
法制度・管理体制の整備

国立公園の海域生物多様性の保全
公園利用者の満足度向上
観光立国の推進